



コール ピックアップ

この章では、自分の電話番号以外の番号に着信したコールに応答できる、コール ピックアップ機能について説明します。

- [コール ピックアップおよびグループ コール ピックアップの設定, 1 ページ](#)
- [他グループ コール ピックアップの設定, 4 ページ](#)
- [ダイレクト コール ピックアップの設定, 6 ページ](#)
- [BLF コール ピックアップの設定, 8 ページ](#)
- [コール ピックアップ機能, 12 ページ](#)
- [インタラクションおよび制限事項, 27 ページ](#)
- [コール ピックアップのインストールとアクティブ化, 29 ページ](#)
- [コール ピックアップ機能の設定, 29 ページ](#)
- [複数のコール ピックアップ グループの設定, 30 ページ](#)

コール ピックアップおよびグループ コール ピックアップの設定

コール ピックアップ機能を使用すると、ユーザは、本人が所属するグループ内の着信コールを受けることができます。Cisco Unified Communications Manager は、ユーザが Cisco Unified IP Phone からこの機能をアクティブにしたときに、適切なコールピックアップグループ番号を自動的にダイヤルします。このタイプのコール ピックアップには、[ピック] ソフトキーを使用します。



(注) Cisco Unified IP Phone 6900 は、コール ピックアップ プログラム可能な機能ボタンまたは [コールピックアップ] ソフトキーを使用します。Cisco Unified IP Phone 8900 および 9900 は、コール ピックアップ プログラム可能な機能ボタンのみを使用します。

グループコールピックアップ機能を使用すると、ユーザは、別のグループ内の着信コールを受けることができます。ユーザは、Cisco Unified IP Phone からこの機能をアクティブにするときに、適切なコールピックアップグループ番号をダイヤルする必要があります。このタイプのコールピックアップには、[Gピック] ソフトキーを使用します。



- (注) Cisco Unified IP Phone 6900 は、グループピックアッププログラム可能な機能ボタンまたは[グループピックアップ] ソフトキーを使用します。Cisco Unified IP Phone 8900 および 9900 は、グループピックアッププログラム可能な機能ボタンのみを使用します。

複数のコールがピックアップグループに着信している場合にグループコールピックアップ電話機能呼び出すと、ユーザは、呼び出し時間の最も長い着信コールに接続されます。



- (注) コールピックアップ機能とグループコールピックアップ機能の設定手順は同じです。グループコールピックアップ番号は、回線または電話番号に適用されます。

コールピックアップ機能およびグループコールピックアップ機能を設定するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** コールピックアップグループでパーティションを使用する場合は、パーティションを設定します。
詳細については、アクセスを制限するためのパーティションによるコールピックアップの使用に関連するトピック、および、パーティションの設定項目については『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』を参照してください。
- ステップ 2** コールピックアップグループを設定します。名前と番号は一意にしてください。
- ステップ 3** 作成したコールピックアップグループを、コールピックアップを有効にする電話機に関連付けられた電話番号に割り当てます。
- コールピックアップ機能を使用するには、コールピックアップグループに割り当てられた電話番号だけを使用する必要があります。
 - コールピックアップ番号でパーティションを使用する場合は、コールピックアップグループに割り当てられた電話番号が、適切なパーティションを含むコーリング検索スペースを持つようにしてください。
- ステップ 4** (任意) 通知をオーディオまたはビジュアル、あるいはその両方に設定します。
- Call Pickup Group Audio Alert Setting サービスパラメータを設定します。
 - [コールピックアップグループの設定(Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウで通知タイプ(オーディオ、ビジュアル、両方)を設定します。
 - [コールピックアップグループの設定(Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウで通知タイマーを設定します。

d) [電話番号の設定(Directory Number Configuration)] ウィンドウで各電話機のオーディオアラート設定項目を設定します。

詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』のコール ピックアップ通知とコール ピックアップ グループの設定に関連するトピック、ならびに電話番号の設定項目に関連するトピックを参照してください。

ステップ 5 必要に応じて、電話ボタンテンプレートにコールピックアップボタンまたはグループピックアップボタンを追加します。

詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の電話ボタンテンプレートの設定に関連するトピックを参照してください。

ステップ 6 ピックアップ ([ピック]) ソフトキーとグループピックアップ ([Gピック]) ソフトキーを使用する電話機に、[標準ユーザ(Standard User)] または [標準機能(Standard Feature)] ソフトキーテンプレートを割り当てます。

詳細については、関連する各トピックを参照してください。

(注) コールを受ける電話機をユーザが所属するグループ内の電話機に限定するには、ソフトキーテンプレートのグループピックアップ ([Gピック]) ソフトキーまたは他ピックアップ ([他グループ]) ソフトキーを [ソフトキーテンプレートの設定(Softkey Template Configuration)] ウィンドウの [選択されていないソフトキー(Unselected Softkeys)] ボックスに移動して無効にします。

『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の IP Phone へのソフトキーテンプレートの割り当てに関連するトピックを参照してください。

ステップ 7 コール ピックアップ グループに対して自動コール応答が必要な場合は、Auto Call Pickup Enabled サービスパラメータの値に [True] を選択して有効にします。デフォルトは [False] です。

詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の自動コールピックアップに関連するトピック、およびサービスパラメータの設定に関連するトピックを参照してください。

ステップ 8 Auto Call Pickup Enabled サービスパラメータが [False] の場合は、Call Pickup No Answer Timer サービスパラメータの値を入力します。コールピックアップ、グループコールピックアップ、または他グループコールピックアップを使用してコールがピックアップされたが、応答はなかった場合、このパラメータはコールの復元に要する時間を制御します。

詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』のサービスパラメータの設定に関連するトピックを参照してください。

ステップ 9 Pickup Locating Timer サービスパラメータの値を入力します。このパラメータは、コールピックアップ、グループコールピックアップ、および他グループコールピックアップでのコール選択の時間を制御します。

詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』のサービスパラメータの設定に関連するトピックを参照してください。

ステップ 10 コールピックアップ機能およびグループコールピックアップ機能、またはどちらか一方が使用可能であることをユーザに通知します。

ユーザが Cisco Unified IP Phone でコールピックアップ機能およびグループコールピックアップ機能にアクセスする方法については、電話機のマニュアルを参照してください。

関連トピック

- 電話番号へのコールピックアップグループの割り当て, (39 ページ)
- 自動コールピックアップ, (20 ページ)
- コールピックアップ, (1 ページ)
- コールピックアップ機能, (12 ページ)
- コールピックアップ通知, (24 ページ)
- コールピックアップグループの設定項目, (33 ページ)
- コールピックアップグループの設定, (32 ページ)
- パーティションとのコールピックアップ機能の連携, (24 ページ)

他グループコールピックアップの設定

他グループコールピックアップ機能を使用すると、ユーザは、本人が所属するグループに関連付けられたグループ内の、着信コールを受けることができます。Cisco Unified Communications Manager は、ユーザが Cisco Unified IP Phone からこの機能をアクティブにしたときに、関連付けられたグループ内の着信コールを自動的に検索して、コール接続を確立します。このタイプのコールピックアップには、[他グループ] ソフトキーを使用します。



- (注) Cisco Unified IP Phone 6900 は、他グループピックアッププログラム可能な機能ボタンまたは [他グループ] ソフトキーを使用します。Cisco Unified IP Phone 8900 および 9900 は、他グループピックアッププログラム可能な機能ボタンのみを使用します。

関連付けられたグループが複数存在する場合、関連付けられたグループへのコールに応答する際の優先順位は、関連付けられた最初のグループから最後のグループまでの順になります。たとえば、グループ A、B、および C がグループ X に関連付けられており、コールに応答する際の優先順位がグループ A、B、および C の順になっているとします。グループ A の着信コールよりも前にグループ C にコールが着信している可能性があります、グループ X は最初にグループ A の着信コールを受けます。



- (注) 通常、同じグループ内で複数の着信コールが発生した場合は、呼び出し音が最も長く鳴っている（呼び出し時間が最も長い）コールが最初に応答されます。他グループコールピックアップの場合、関連付けられたピックアップグループが複数設定されているときは、呼び出し時間よりも優先順位が優先されます。

手順

- ステップ 1** すべてのピックアップグループから選択可能な、関連付けられたグループのリストを設定します。リストには最大 10 のグループを含めることができます。詳細については、他グループコールピックアップのピックアップグループの定義に関連するトピックを参照してください。
- ステップ 2** ユーザのグループに関連付けられたグループのメンバに関する [コーリングサーチスペース(Calling Search Space)] パラメータと TOD パラメータを設定します。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の以下に関連するトピックを参照してください。
- コーリングサーチスペース
 - タイムスケジュールの設定
 - 時間帯の設定
- また、『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の Time-of-Day ルーティングに関連するトピックも参照してください。
- ステップ 3** 他グループコールピックアップに対して自動コール応答が必要な場合は、Auto Call Pickup Enabled サービスパラメータの値に [True] を入力して有効にします。デフォルトは [False] です。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の自動コールピックアップに関連するトピック、およびサービスパラメータの設定に関連するトピックを参照してください。
- ステップ 4** Auto Call Pickup Enabled サービスパラメータが [False] の場合は、Call Pickup No Answer Timer サービスパラメータの値を入力します。コールが他グループコールピックアップによってピックアップされたが応答されなかった場合、このパラメータはコールの復元に要する時間を制御します。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』のサービスパラメータの設定に関連するトピックを参照してください。
- ステップ 5** Pickup Locating Timer サービスパラメータの値を入力します。このパラメータは、コールピックアップ、グループコールピックアップ、および他グループコールピックアップでのコール選択の時間を制御します。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』のサービスパラメータの設定に関連するトピックを参照してください。
- ステップ 6** 電話機に他グループコールピックアップ ([他グループ]) ソフトキーを設定するには、[標準ユーザ(Standard User)] または [標準機能(Standard Feature)] ソフトキーテンプレートを変更して、その電話機に追加します。他グループコールピックアップ ([他グループ]) ソフトキーを含めるには、次の手順でテンプレートを変更します。
- a) Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[デバイス(Device)] > [デバイスの設定(Device Settings)] > [ソフトキーテンプレート(Softkey Template)] を選択します。
 - b) 対象となるソフトキーテンプレートを選択します。
 - c) [ソフトキーレイアウトの設定(Softkey Layout Configuration)] リンクを選択します。

- d) [オンフック(On Hook)] または [オフフック(Off Hook)] のコール状態を選択します。
- e) [選択されていないソフトキー(Unselected Softkeys)] ボックスで [他グループ コール ピックアップ(他グループ)(Other Pickup(OPickUp))] を選択します。右矢印をクリックし、[他グループ コール ピックアップ(他グループ)(Other Pickup (OPickup))] ソフトキーを [選択されたソフトキー (Selected Softkeys)] ボックスに移動します。
- (注) コールを受ける電話機をユーザが所属するグループ内の電話機に限定するには、ソフトキー テンプレートで [他グループ コール ピックアップ(他グループ)(Other Pickup (OPickup))] ソフトキーを無効にします。

詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』のソフトキー テンプレートの IP Phone への割り当てに関連するトピックを参照してください。

- ステップ 7** 必要に応じて、他グループピックアップ ボタンを電話ボタン テンプレートに追加します。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の電話ボタン テンプレートの設定に関連するトピックを参照してください。
- ステップ 8** 他グループ コール ピックアップ機能が使用可能であることをユーザに通知します。ユーザが Cisco Unified IP Phone で他グループ コール ピックアップ機能にアクセスする方法については、電話機のマニュアルを参照してください。

関連トピック

- [自動コール ピックアップ, \(20 ページ\)](#)
- [コール ピックアップ, \(1 ページ\)](#)
- [コール ピックアップ機能, \(12 ページ\)](#)
- [他グループ コール ピックアップのピックアップ グループの定義, \(38 ページ\)](#)

ダイレクト コール ピックアップの設定

ダイレクト コール ピックアップ機能を使用すると、ユーザは、[Gピック] ソフトキーまたは [グループピックアップ] ソフトキーを押して、呼び出し中のデバイスの電話番号を入力することで、DN で呼び出し中のコールを直接受けることができます。Cisco Unified Communications Manager は、関連付けられたグループ メカニズムを使用して、ダイレクト コール ピックアップ機能を呼び出して着信コールを受けるユーザの特権を制御します。ユーザに関連付けられたグループによって、ユーザが所属するピックアップグループに関連付けられている 1 つ以上のコールピックアップグループが指定されます。

ユーザが呼び出し中のコールを直接 DN から受けるには、ユーザの関連付けられたグループに、DN が所属するピックアップグループが含まれている必要があります。2 人のユーザが 2 つの異なるコールピックアップグループに所属しており、ユーザの関連付けられたグループに相手のユーザのコールピックアップグループが含まれていない場合、これらのユーザはダイレクトコールピックアップ機能呼び出して互いのコールを受けることができません。

ユーザがダイレクトコールピックアップ機能呼び出し、着信コールのピックアップ元のDNを入力すると、ユーザは、DNが所属するコールピックアップグループの中で呼び出し時間の最も長いコールであるかどうかに関係なく、指定した電話機への着信コールに接続されます。

複数のコールが特定のDNを呼び出し中で、ユーザがダイレクトコールピックアップ機能呼び出してそのDNからコールを受けると、ユーザは指定したDNで呼び出し時間が最も長い着信コールに接続されます。

ダイレクトコールピックアップを設定するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** すべてのピックアップグループから選択可能な、関連付けられたグループのリストを設定します。リストには最大 10 のグループを含めることができます。詳細については、他グループコールピックアップのピックアップグループの定義に関連するトピックを参照してください。
- ステップ 2** ユーザのグループに関連付けられたグループのメンバに関する [コーリングサーチスペース(Calling Search Space)] パラメータと TOD パラメータを設定します。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の以下に関連するトピックを参照してください。
- コーリングサーチスペース
 - タイムスケジュールの設定
 - 時間帯の設定
- また、『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の Time-of-Day ルーティングに関連するトピックも参照してください。
- ステップ 3** ダイレクトコールピックアップに対して自動コール応答が必要な場合は、Auto Call Pickup Enabled サービスパラメータの値に [True] を入力して有効にします。デフォルトは [False] です。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の自動コールピックアップに関連するトピック、およびサービスパラメータの設定に関連するトピックを参照してください。
- ステップ 4** Auto Call Pickup Enabled サービスパラメータが [False] の場合は、Call Pickup No Answer Timer サービスパラメータの値を入力します。コールがダイレクトコールピックアップによってピックアップされたが応答されなかった場合、このパラメータはコールの復元に要する時間を制御します。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』のサービスパラメータの設定に関連するトピックを参照してください。
- ステップ 5** Pickup Locating Timer サービスパラメータの値を入力します。このパラメータは、コールピックアップ、グループコールピックアップ、および他グループコールピックアップでのコール選択の時間を制御します。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』のサービスパラメータの設定に関連するトピックを参照してください。

- ステップ 6** 電話機に [グループ コール ピックアップ (Gピック) (Group Call Pickup(GPickUp))] ソフトキーを設定するには、[標準ユーザ(Standard User)] または [標準機能(Standard Feature)] ソフトキー テンプレートを変更して、その電話機に追加します。[グループ コールピックアップ (Gピック) (Group Call Pickup(GPickUp))] ソフトキーを含めるには、次の手順でテンプレートを変更します。
- Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[デバイス(Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [ソフトキーテンプレート(Softkey Template)] を選択します。
 - 対象となるソフトキー テンプレートを選択します。
 - [ソフトキーレイアウトの設定(Softkey Layout Configuration)] リンクを選択します。
 - [オンフック(On Hook)] または [オフフック(Off Hook)] のコール状態を選択します。
 - [選択されていないソフトキー(Unselected Softkeys)] ボックスで [グループ コール ピックアップ (Gピック) (Group Call Pickup(GPickUp))] を選択します。右矢印をクリックし、[グループ コールピックアップ (Gピック) (Group Call Pickup(GPickUp))] ソフトキーを [選択されたソフトキー (Selected Softkeys、位置順)] ボックスに移動します。
- (注) コールを受ける電話機をユーザが所属するグループ内の電話機に限定するには、ソフトキーテンプレートで [グループ コール ピックアップ (Gピック) (Group Call Pickup(GPickUp))] ソフトキーを無効にします。
- 詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』のソフトキーテンプレートの IP Phone への割り当てに関連するトピックを参照してください。
- ステップ 7** 必要に応じて、グループ ピックアップ ボタンを電話ボタンテンプレートに追加します。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の電話ボタンテンプレートの設定に関連するトピックを参照してください。
- ステップ 8** ダイレクト コール ピックアップ機能が使用可能であることをユーザに通知します。ユーザが Cisco Unified IP Phone でダイレクト コール ピックアップ機能にアクセスする方法については、電話機のマニュアルを参照してください。

関連トピック

- [自動コールピックアップ, \(20 ページ\)](#)
- [コールピックアップ, \(1 ページ\)](#)
- [コールピックアップ機能, \(12 ページ\)](#)
- [他グループ コールピックアップのピックアップグループの定義, \(38 ページ\)](#)

BLF コールピックアップの設定

Cisco Unified IP Phone のビジー ランプ フィールド (BLF) ボタンを DN に関連付けることができます。この操作により、Cisco Unified Communications Manager は、コールが DN からのピックアップの待機中である場合に、そのことを電話機のユーザに通知できます。DN は BLF DN を表しており、BLF DN へのコールを受ける電話機が BLF コールピックアップの開始側となります。

次の規則が、BLF DN および BLF コールピックアップ開始側に適用されます。

- BLF コールピックアップ開始側は、次に使用可能な回線または指定された回線として選択されます。指定された回線を使用するには、BLF SD ボタンを押す前に回線がオフフックになっている必要があります。
- BLF コールピックアップの開始側がハントリストメンバへの着信コールを受けることができるように、ハントリストメンバ DN を BLF DN として設定できます。ハントリストメンバへの着信コールは、ハントリストから発信されたコールの場合もあれば、ダイレクトコールの場合もあります。どちらの場合も、動作は、コールピックアップのハントリストメンバ DN、BLF DN、およびハントパイロット番号がどのように設定されているかによって異なります。
- サービスパラメータ **Auto Call Pickup Enabled** が [False] に設定されているときにコールピックアップを実行する場合、電話機がオフフックになっている必要があります。または、ユーザが [応答] キーを押してコールを受ける必要があります。

電話機の BLF SD ボタンは、次のいずれかの状態になります。

- アイドル：BLF DN にコールが存在していないことを示します。
- 話し中：BLF DN に 1 つ以上のアクティブコールが存在するが、アラートは発生していないことを示します。
- アラート：点滅している場合は、BLF DN に 1 つ以上の着信コールがあることを示します。



(注) オプションで、ビジュアルアラートに加え警告音を設定することができます。

BLF DN への着信コールに対する対応は、次のとおりです。

- 1 BLF DN への着信コールがあることを示すため、BLF コールピックアップの開始側電話機で BLF SD ボタンが点滅します。
- 2 自動コールピックアップが設定されている場合、ユーザはコールピックアップの開始側電話機で BLF SD ボタンを押すと、着信コールを受けることができます。自動コールピックアップが設定されていない場合は、電話機がオフフックになっている必要があります。または、ユーザが [応答] キーを押してコールを受ける必要があります。

BLF コールピックアップを設定するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** BLF DN のコールピックアップグループを設定します。名前と番号は一意にしてください。詳細については、コールピックアップグループの設定項目に関連するトピックを参照してください。
- ステップ 2** 別のコールピックアップグループを作成し、作成したコールピックアップグループに関連付けます。1 つのコールピックアップグループを複数の BLF DN コールピックアップグループに関連付けることができます。

- コールピックアップグループに割り当てられた電話番号だけが、BLF コールピックアップ機能を使用できます。
- コールピックアップ番号でパーティションを使用する場合は、コールピックアップグループに割り当てられた電話番号が、適切なパーティションを含むコーリングサーチスペースを持つようにしてください。

(注) 必ずしも別のコールピックアップグループを作成する必要があるわけではありません。ピックアップグループは、それ自身をアソシエーショングループとして保持できます。詳細については、コールピックアップグループの設定項目に関連するトピックを参照してください。

ステップ 3 スピードダイヤル BLF ボタンを含むカスタマイズ電話ボタンテンプレートを作成し、BLF DN からコールを受けるために使用される電話デバイスにその電話ボタンテンプレートに関連付けます。BLF DN からコールを受ける電話機がコールピックアップの開始側となります。詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド*』の Cisco Unified IP Phone および電話ボタンテンプレートの設定に関連するトピックを参照してください。

ステップ 4 BLF コールピックアップの開始側用として作成した電話機に BLF SD 番号を設定します。そのためには、[電話の設定(Phone Configuration)] ウィンドウで [新規 BLF SD を追加(Add a new BLF SD)] リンクをクリックします。[ビジールンプフィールドスピードダイヤルの設定(Busy Lamp Field Speed Dial Configuration)] ウィンドウが表示されます。BLF SD ボタンによって監視される BLF DN となる電話番号を選択します。[コールピックアップ(Call Pickup)] チェックボックスで、BLF SD ボタンに関連付けられたピックアップ機能を有効にします。

(注) このチェックボックスをオンにすると、BLF コールピックアップと BLF スピードダイヤルに BLF SD ボタンを使用できます。このチェックボックスがオフになっている場合は、BLF スピードダイヤルにだけ BLF SD ボタンを使用できます。

詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド*』の Cisco Unified IP Phone の設定に関連するトピックを参照してください。

ステップ 5 [電話番号の設定(Directory Number Configuration)] ウィンドウで、作成されたコールピックアップグループに対する BLF コールピックアップの開始側として使用される DN を追加します。

(注) BLF DN のピックアップグループは、開始側のアソシエーショングループに所属している必要があります。ステップ 2 で作成されたピックアップグループには、一連のアソシエーショングループ内で、ステップ 1 で作成されたピックアップグループが含まれている必要があります。

詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド*』の電話番号の設定に関連するトピックを参照してください。

ステップ 6 [電話番号の設定(Directory Number Configuration)] ウィンドウで、作成したコールピックアップグループに BLF DN を追加します。

詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド*』の電話番号の設定に関連するトピックを参照してください。

ステップ7 (任意) (オプション) [サービスパラメータ設定(Service Parameter Configuration)] ウィンドウで、クラスタに関する BLF コールピックアップ オーディオアラートをアクティブにするため、次の Cisco CallManager サービス パラメータを有効にします。

- [BLF Pickup Audio Alert Setting of Idle Station]
- [BLF Pickup Audio Alert Setting of Busy Station]

詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』のサービスパラメータの設定に関連するトピックを参照してください。

ステップ8 (任意) BLF コールピックアップの開始側が BLF-SD を押すことによって発信者に接続できるようにするには、Cisco CallManager サービスパラメータ Auto Call Pickup Enabled を [True] に設定します。

このサービスパラメータを [False] に設定すると、コールピックアップの開始側は、BLF-SD ボタンを押すだけでなく、オフフックにしたり、応答ボタンを押してコールに応答したりする必要があります。

詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』のサービスパラメータの設定に関連するトピックを参照してください。

ステップ9 (任意) [電話の設定(Phone Configuration)] ウィンドウで、BLF コールピックアップの開始側に関する BLF コールピックアップ オーディオアラートをアクティブにするため、次のフィールドを有効にします。

- [BLFオーディオアラート設定(BLF Audible Alert Setting、電話がアイドルのとき)]
- [BLFオーディオアラート設定(BLF Audible Alert Setting、電話がビジーのとき)]

詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の Cisco Unified IP Phone の設定に関連するトピックを参照してください。

ステップ10 (任意) [エンタープライズパラメータ設定(Enterprise Parameters Configuration)] ウィンドウで、エンタープライズパラメータの Cisco Support Use 1 を使用して、ハントパイロット番号のコールピックアップグループへの追加を許可または禁止します。フィールドに CSCsb42763 と入力すると、ハントパイロット番号のコールピックアップグループへの追加が許可されます。このように入力しない場合は、ハントパイロット番号をコールピックアップグループに追加できません。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』のエンタープライズパラメータの設定に関連するトピックを参照してください。

ステップ11 コールピックアップ機能が使用可能であることをユーザに通知します。ユーザが Cisco Unified IP Phone でコールピックアップ機能にアクセスする方法については、電話機のマニュアルを参照してください。

関連トピック

- [コールピックアップ, \(1 ページ\)](#)
- [コールピックアップ機能, \(12 ページ\)](#)

コールピックアップグループの設定, (32 ページ)

コールピックアップ機能

Cisco Unified IP Phone では、コールピックアップ、グループコールピックアップ、他グループコールピックアップ、ダイレクトコールピックアップ、BLFコールピックアップ、および自動コールピックアップといった各タイプのコールピックアップをサポートしています。

次の情報は、すべてのタイプのコールピックアップに適用されます。

- アイドルおよびオフフックのコール状態では、[ピック]、[Gピック]、および[他グループ]の3つのソフトキーが使用可能になります。管理者は、ユーザがコールピックアップ機能呼び出せるよう、これらのソフトキーを標準ソフトキーテンプレートに追加する必要があります。
- ユーザは、コールが着信していない電話機からコールを受けるためにコールピックアップ機能呼び出すと、「ピックアップできるコールがありません」というメッセージを受け取ります。ユーザがコールピックアップ機能呼び出し、コールを受けるように設定されていないDNから呼び出し中のコールを受けると、リオーダー音が聞こえます。
- コールピックアップは打診転送コールで動作します。次のシナリオは、1つの例を示しています。ユーザAがユーザCにコールを発信し、ユーザCが応答します。ユーザCは[転送]キーを押して、電話機Dにダイヤルします。ユーザEは、電話機Dの呼び出し音を聞き、コールピックアップ機能を使用して、電話機Dで呼び出し中のコールを受けます。ユーザCが再び[転送]キーを押すと、ユーザAとユーザEが接続されます。また、コールピックアップは、電話機Dがコールを受けるか、またはユーザEがコールピックアップ機能呼び出す前に、ユーザCが[転送]キーを押した場合にも動作します。
- コールピックアップ機能は、アドホック会議コールで動作します。次のシナリオは、1つの例を示しています。ユーザAがユーザCにコールを発信し、ユーザCが応答します。ユーザCは、[会議]キーを押して、電話機Dに打診コールを発信します。ユーザEは、電話機Dの呼び出し音を聞き、コールピックアップ機能を使用して、電話機Dで呼び出し中のコールを受けます。その後、ユーザCが再び[会議]キーを押すと、ユーザA、ユーザC、およびユーザEがアドホック会議に接続されます。また、コールピックアップ機能は、電話機Dで呼び出し中のコールをユーザEが受ける前に、ユーザCが2回目の[会議]キーを押した場合にも動作します。
- サービスパラメータ Auto Call Pickup Enabled が [False] に設定されている状態で、DN C で呼び出し中のユーザ A からのコールを受けるためにユーザ E が正常にコールピックアップ機能呼び出したとします。ユーザ E は、Call Pickup No Answer Timer に指定された期限が切れる前にコールを受けませんでした。この場合、ユーザ A からのコールは復元され、DN C での呼び出しが続行されます。
- ユーザは、コールを受けるための空き回線がある場合にだけ、コールピックアップ機能呼び出すことができます。ユーザの回線が保留中のコールでビジーである場合は、「ピックアップできる回線がありません」というメッセージがディスプレイに表示され、元のコールは送信先番号の呼び出しを続行します。

関連トピック

[コール ピックアップおよびグループ コール ピックアップの設定, \(1 ページ\)](#)

[ダイレクト コール ピックアップの設定, \(6 ページ\)](#)

[他グループ コール ピックアップの設定, \(4 ページ\)](#)

コール ピックアップ

コール ピックアップ機能を使用すると、ユーザは、本人が所属するグループ内の着信コールを受けることができます。Cisco Unified Communications Manager は、ユーザが Cisco Unified IP Phone からこの機能をアクティブにしたときに、適切なコール ピックアップ グループ番号を自動的にダイヤルします。このタイプのコール ピックアップには、[ピック] ソフトキーまたはピック機能ボタンを使用します。

コール ピックアップ機能は、自動コール ピックアップが有効か無効かに関係なく動作します。詳細については、[自動コール ピックアップ, \(20 ページ\)](#) を参照してください。

グループ コール ピックアップ

グループコールピックアップ機能を使用すると、ユーザは、別のグループ内の着信コールを受けることができます。ユーザは、Cisco Unified IP Phone からこの機能をアクティブにするときに、適切なコール ピックアップ グループ番号をダイヤルする必要があります。このタイプのコール ピックアップには、[Gピック] ソフトキーまたはグループピックアップ機能ボタンを使用します。

複数のコールがピックアップ グループに着信している場合にグループ コール ピックアップ電話機能を呼び出すと、ユーザは、呼び出し時間の最も長い着信コールに接続されます。



(注) コール ピックアップ機能とグループ コール ピックアップ機能の設定手順は同じです。グループ コール ピックアップ番号は、回線または電話番号に適用されます。

グループ コール ピックアップ機能は、自動コール ピックアップが有効か無効かに関係なく動作します。詳細については、[自動コール ピックアップ, \(20 ページ\)](#) を参照してください。

他グループ コール ピックアップ

他グループコールピックアップ機能を使用すると、ユーザは、本人が所属するグループに関連付けられたグループ内の、着信コールを受けることができます。Cisco Unified Communications Manager は、ユーザが Cisco Unified IP Phone からこの機能をアクティブにしたときに、関連付けられたグループ内の着信コールを自動的に検索して、コール接続を確立します。このタイプのコール ピックアップには、[他グループ] ソフトキーまたは他グループ機能ボタンを使用します。

関連付けられたグループが複数存在する場合、関連付けられたグループへのコールに応答する際の優先順位は、関連付けられた最初のグループから最後のグループまでの順になります。たとえば、グループ A、B、および C がグループ X に関連付けられており、コールに応答する際の優先

順位がグループ A、B、および C の順になっているとします。グループ A の着信コールよりも前にグループ C にコールが着信している可能性があります。グループ X は最初にグループ A の着信コールを受けます。



(注) 通常、同じグループ内で複数の着信コールが発生した場合は、呼び出し音が最も長く鳴っている（呼び出し時間が最も長い）コールが最初に応答されます。他グループ コール ピックアップの場合、関連付けられたピックアップグループが複数設定されているときは、呼び出し時間よりも優先順位が優先されます。

他グループ コール ピックアップ機能は、自動コールピックアップが有効か無効かに関係なく動作します。詳細については、[自動コールピックアップ](#)、(20 ページ) を参照してください。

ダイレクトコールピックアップ

ダイレクトコールピックアップ機能を使用すると、ユーザは、[Gピック]ソフトキーまたはグループピックアップ機能ボタンを押して、呼び出し中のデバイスの電話番号を入力することで、DN で呼び出し中のコールを直接受けることができます。Cisco Unified Communications Manager は、関連付けられたグループメカニズムを使用して、ダイレクトコールピックアップ機能呼び出して着信コールを受けるユーザの特権を制御します。ユーザに関連付けられたグループによって、ユーザが所属するピックアップグループに関連付けられている1つ以上のコールピックアップグループが指定されます。

ユーザが呼び出し中のコールを直接 DN から受けるには、ユーザの関連付けられたグループに、DN が所属するピックアップグループが含まれている必要があります。2人のユーザが2つの異なるコールピックアップグループに所属しており、ユーザの関連付けられたグループに相手のユーザのコールピックアップグループが含まれていない場合、これらのユーザはダイレクトコールピックアップ機能呼び出して互いのコールを受けることができません。

ユーザがダイレクトコールピックアップ機能呼び出し、着信コールのピックアップ元の DN を入力すると、ユーザは、DN が所属するコールピックアップグループの中で呼び出し時間の最も長いコールであるかどうかに関係なく、指定した電話機への着信コールに接続されます。

複数のコールが特定の DN を呼び出し中で、ユーザがダイレクトコールピックアップ機能呼び出してその DN からコールを受けると、ユーザは指定した DN で呼び出し時間が最も長い着信コールに接続されます。

ダイレクトコールピックアップ機能は、自動コールピックアップが有効か無効かに関係なく動作します。詳細については、[自動コールピックアップ](#)、(20 ページ) を参照してください。

ダイレクトコールピックアップの例

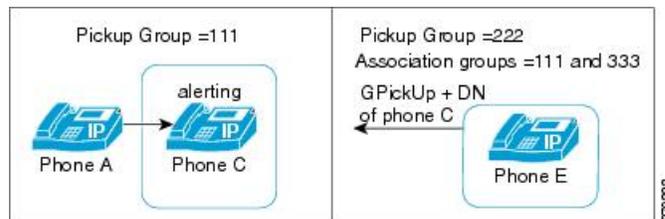
次の例では、ダイレクトコールピックアップのさまざまなシナリオを示します。

基本的なダイレクトコール ピックアップ

このシナリオは、ダイレクト コール ピックアップを示しています。以下の図に示すとおり、次のように設定されます。

- 1 作成される 3 つのピックアップ グループは、グループ番号 111、222、および 333 から構成されます。
- 2 ピックアップ グループ 222 には、その他のピックアップ グループとして 111 および 333 を指定するアソシエーショングループが含まれます。
- 3 電話機 C の DN は、ピックアップ グループ 111 内の 1000 に指定されます。
- 4 電話機 E の DN は、ピックアップ グループ 222 内の 2000 に指定されます。

図 1: 基本的なダイレクトコール ピックアップの設定



- 5 ユーザ A が電話機 C にコールを発信し、電話機 C で呼び出し音が鳴り始めます。
- 6 ユーザ E が [Gピック] ソフトキーを押し、電話機 C の DN、つまり 1000 を入力します。
- 7 電話機 A と電話機 E が接続され、電話機 C の呼び出しが停止します。

次の図は、ダイレクト コール ピックアップが完了した後の電話機 A と電話機 E の接続状態を示しています。

図 2: 基本的なダイレクトコール ピックアップの完了



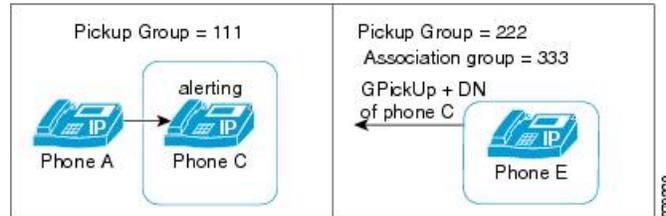
ダイレクトコール ピックアップ制御メカニズム：拒否の例 1

このシナリオは、ダイレクトコールピックアップの試行が拒否される場合の制御メカニズムを示しています。以下の図に示すとおり、次のように設定されます。

- 1 作成される 3 つのピックアップ グループは、グループ番号 111、222、および 333 から構成されます。

- 2 ピックアップグループ 222 には、アソシエーショングループ 333 が含まれます。
- 3 電話機 C の DN は、ピックアップグループ 111 内の 1000 に指定されます。
- 4 電話機 E の DN は、ピックアップグループ 222 内の 2000 に指定されます。

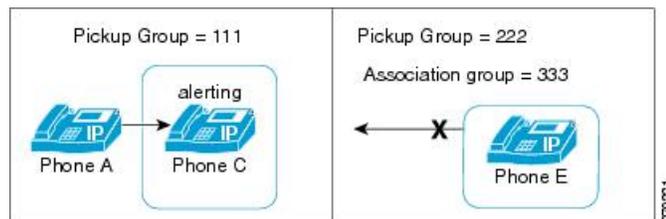
図 3: 拒否が発生するダイレクトコールピックアップの設定 1



- 5 ユーザ A が電話機 C にコールを発信し、電話機 C で呼び出し音が鳴り始めます。
- 6 ユーザ E が [Gピック] ソフトキーを押し、電話機 C の DN、つまり 1000 を入力します。
- 7 電話機 E に対して試みられたダイレクトコールピックアップは、電話機 E のピックアップグループ (222) のアソシエーションリストにグループ 111 が含まれていないため、拒否されます。

次の図は、ダイレクトコールピックアップが失敗した後の電話機 A と電話機 E の接続状態を示しています。

図 4: 拒否されたダイレクトコールピックアップ、例 1



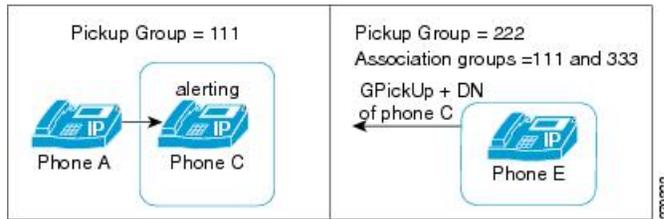
ダイレクトコールピックアップ制御メカニズム：拒否の例 2

このシナリオは、ダイレクトコールピックアップの試行が拒否される場合の制御メカニズムを示しています。以下の図に示すとおり、次のように設定されます。

- 1 作成される 3 つのピックアップグループは、グループ番号 111、222、および 333 から構成されます。
- 2 ピックアップグループ 222 には、アソシエーショングループ 111 および 333 が含まれます。
- 3 電話機 C の DN は、ピックアップグループ 111 の PT_C/1000 に指定されます。PT_C は電話機 C のパーティションを示しています。

- 電話機 E の DN は、ピックアップグループ 222 の PT_E/2000 に指定されます。PT_E は電話機 E のパーティションを示し、電話機 E のコーリング検索スペース (CSS) は PT_E に指定されます。

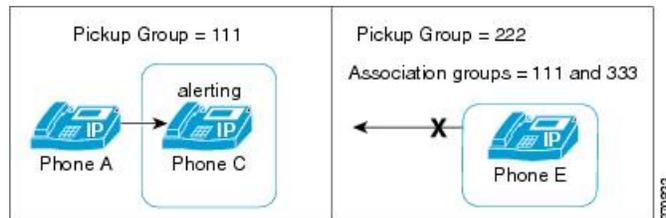
図 5: 拒否が発生するダイレクトコールピックアップの設定 2



- ユーザ A が電話機 C にコールを発信し、電話機 C で呼び出し音が鳴り始めます。
- ユーザ E が [Gピック] ソフトキーを押し、電話機 C の DN、つまり 1000 を入力します。
- 電話機 E に対して試みられたダイレクトコールピックアップは、電話機 E の CSS に電話機 C のパーティションが含まれていないため拒否されます。

次の図は、ダイレクトコールピックアップが失敗した後の電話機 A と電話機 E の接続状態を示しています。

図 6: 拒否されたダイレクトコールピックアップ、例 2



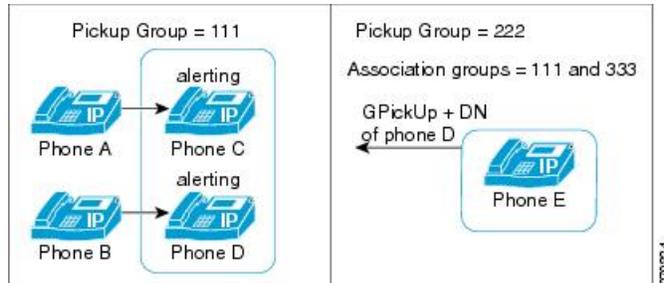
ダイレクトコールピックアップ制御メカニズム：複数のコール

このシナリオは、複数のコールがピックアップ可能な場合のダイレクトコールピックアップを示しています。以下の図に示すとおり、次のように設定されます。

- 作成される 3 つのピックアップグループは、グループ番号 111、222、および 333 から構成されます。
- ピックアップグループ 222 には、アソシエーショングループ 111 および 333 が含まれます。
- 電話機 C の DN は 1000、電話機 D の DN は 3000 に指定され、どちらの電話機もピックアップグループ 111 に属しています。

- 電話機 E の DN は、ピックアップグループ 222 内の 2000 に指定されます。

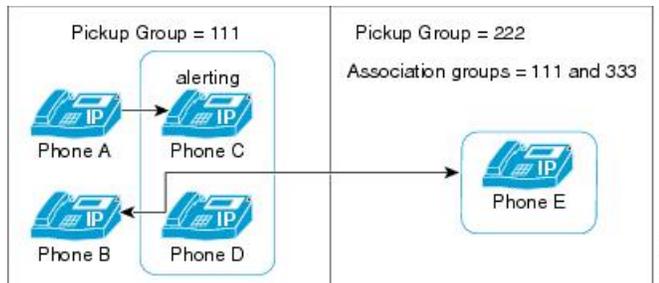
図 7: 複数のコールがある場合のダイレクトコールピックアップの設定



- ユーザ A が電話機 C にコールを発信し、ユーザ B が電話機 D にコールを発信します。電話機 C と電話機 D の呼び出し音が鳴り始めます。
- ユーザ E が [Gピック] ソフトキーを押し、電話機 D の DN、つまり 3000 を入力します。
- 電話機 B と電話機 E が接続され、電話機 D の呼び出しが停止します。

次の図は、ダイレクトコールピックアップが完了した後の電話機 B と電話機 E の接続状態を示しています。

図 8: 複数のコールがあるダイレクトコールピックアップの完了



ビジョーランプフィールドコールピックアップ

Cisco Unified IP Phone のビジョーランプフィールド (BLF) ボタンを DN に関連付けることができます。この操作により、Cisco Unified Communications Manager は、コールが DN からのピックアップの待機中である場合に、そのことを電話機のユーザに通知できます。DN は BLF DN を表しており、BLF DN へのコールを受ける電話機が BLF コールピックアップの開始側となります。

次の規則が、BLF DN および BLF コールピックアップ開始側に適用されます。

- BLF コールピックアップ開始側は、次に使用可能な回線または指定された回線として選択されます。指定された回線を使用するには、BLF SD ボタンを押す前に回線がオフフックになっている必要があります。

- BLF コールピックアップの開始側がハントリストメンバへの着信コールを受けられるように、ハントリストメンバDNをBLF DNとして設定できます。ハントリストメンバへの着信コールは、ハントリストから発信されたコールの場合もあれば、ダイレクトコールの場合もあります。どちらの場合も、動作は、コールピックアップのハントリストメンバDN、BLFDN、およびハントパイロット番号がどのように設定されているかによって異なります。
- サービスパラメータ **Auto Call Pickup Enabled** が [False] に設定されているときにコールピックアップを実行する場合、電話機がオフフックになっている必要があります。または、ユーザが [応答] キーを押してコールを受けする必要があります。

電話機の BLF SD ボタンは、次のいずれかの状態になります。

- アイドル：BLF DN にコールが存在していないことを示します。
- 話し中：BLF DN に1つ以上のアクティブコールが存在するが、アラートは発生していないことを示します。
- アラート：点滅している場合は、BLF DN に1つ以上の着信コールがあることを示します。



(注) オプションで、ビジュアルアラートに加え警告音を設定することができます。

BLF DN への着信コールに対する対応は、次のとおりです。

- 1 BLF DN への着信コールがあることを示すため、BLF コールピックアップの開始側電話機で BLF SD ボタンが点滅します。
- 2 自動コールピックアップが設定されている場合、ユーザはコールピックアップの開始側電話機で BLF SD ボタンを押すと、着信コールを受けられます。自動コールピックアップが設定されていない場合は、電話機がオフフックになっている必要があります。または、ユーザが [応答] キーを押してコールを受けする必要があります。

BLF コールピックアップの例

このシナリオは、BLF コールピックアップを示しています。次の構成要素が設定されます。

- グループ 111 は、BLF DN (電話機 B)、外部電話機 (電話機 A)、および他の電話機を含むコールピックアップグループを表しています。
- グループ 222 は、グループ 111 に関連付けられたコールピックアップグループを表しています。グループ 222 には電話機 C が含まれます。
- 電話機 A は、外部電話機を表しています。
- 電話機 B は、グループ 111 内の BLF DN 電話機を表しています。

- 電話機 C は、BLF SD ボタンが電話機 B の BLF DN を監視するように設定されており、コールピックアップが有効な、グループ 222 内のユーザ電話機を表しています。これが、BLF コールピックアップの開始側電話機となります。

電話機 A からのコールが電話機 B に着信すると、電話機 C の BLF SD ボタンが点灯します。電話機 C のユーザがボタンを押し、電話機 A の発信者に接続します。

ハントリストパイロット番号がグループ 111 の一部として設定されている場合、電話機 A からハントグループへコールが発信されると、電話機 C の BLF SD ボタンが点灯します。電話機 C のユーザは、ボタンを押すと、電話機 A の発信者に接続できます。

自動コールピックアップ

Auto Call Pickup Enabled サービスパラメータを有効にすると、コールピックアップ、グループコールピックアップ、他グループコールピックアップ、ダイレクトコールピックアップ、および BLF コールピックアップを自動化できます。

このパラメータが有効になっている場合、ユーザが電話機の該当するソフトキーを押すと、Cisco Unified Communications Manager は、ユーザが所属するピックアップグループ、別のピックアップグループ、またはユーザが所属するグループに関連付けられたピックアップグループ内の着信コールにユーザを自動的に接続します。このアクションに必要なキーストロークは 1 回だけです。

自動コールピックアップは、ユーザを本人が所属するグループの着信コールに接続します。ユーザが電話機の [ピック] ソフトキーを押すと、Cisco Unified Communications Manager はグループ内の着信コールを特定し、コール接続を行います。自動化が有効でない場合、ユーザはコール接続の際に [ピック] ソフトキーと [応答] ソフトキーを押す必要があります。

自動グループコールピックアップは、ユーザを別のピックアップグループの着信コールに接続します。ユーザは電話機の [Gピック] ソフトキーを押し、別のピックアップグループのグループ番号をダイヤルします。ピックアップグループ番号を受信すると、Cisco Unified Communications Manager はコール接続を行います。自動グループコールピックアップが有効でない場合、ユーザは [Gピック] ソフトキーを押して別のピックアップグループのグループ番号にダイヤルし、コールに応答して接続を確立する必要があります。

自動他グループコールピックアップでは、ユーザを本人が所属するグループに関連付けられたグループの着信コールに接続します。ユーザは電話機の [他グループ] ソフトキーを押します。Cisco Unified Communications Manager は、[コールピックアップグループの設定(Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウに管理者が入力した順序で、関連付けられたグループ内の着信コールを自動的に検索し、コールが見つかったらコール接続を行います。自動化が有効でない場合、ユーザはコール接続の際に [他グループ] ソフトキーと [応答] ソフトキーを押す必要があります。

自動ダイレクトコールピックアップでは、ユーザを本人が所属するグループに関連付けられたグループの着信コールに接続します。ユーザは電話機の [Gピック] ソフトキーを押し、呼び出し中の電話機の DN をダイヤルします。DNを受信すると、Cisco Unified Communications Manager はコール接続を行います。自動ダイレクトコールピックアップが有効でない場合、ユーザは [Gピック] ソフトキーを押して、呼び出し中の電話機の DN にダイヤルし、この時点で自分の電話機を呼び出しているコールに応答して接続を確立します。



(注) CTI アプリケーションでは、コールに応答している通話者を監視できます。しかし、ピックアップの要求者または応答されたコールの接続先を監視することはできません。したがって、Cisco Unified Communications Manager Assistant は自動コールピックアップ（ワンタッチコールピックアップ）に対応していません。



(注) 自動コールピックアップは、限定された範囲で Cisco Unified Mobility 機能と通信します。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の [インタクション](#) を参照してください。

応答なし時のコールピックアップ

サービスパラメータ `Auto Call Pickup Enabled` が `[False]` に設定されているときにコールピックアップが発生した場合、その電話機で設定された自動転送は、いずれかのピックアップソフトキーが押されると無視されます。コールピックアップの要求者がコールに応答しない場合、ピックアップ応答なしタイマーが時間切れになった後に元のコールが復元されます。

話し中のコールピックアップ

サービスパラメータ `Auto Call Pickup Enabled` が `[False]` に設定されているときにコールピックアップが発生した場合、コールピックアップの要求者の電話機が通話中の間は、元のコールが復元されません。

帯域幅不足時のコールピックアップ

サービスパラメータ `Auto Call Pickup Enabled` が `[False]` に設定されているときにコールピックアップが発生した場合、コール発信者と要求者の電話機の間利用できる帯域幅がないと、元のコールが復元されません。

ハントリストでのコールピックアップ機能の使用

コールピックアップグループをハントパイロット DN に割り当てることができます。この操作を行うと、コールピックアップの動作に影響を与えます。ユーザは、回線グループメンバで呼び出し音が鳴っているコールをピックアップできます。コールピックアップグループ通知が有効になっている場合、回線グループメンバ内のコールのアラートは同じコールピックアップグループに関連付けられている各デバイスに通知されます。

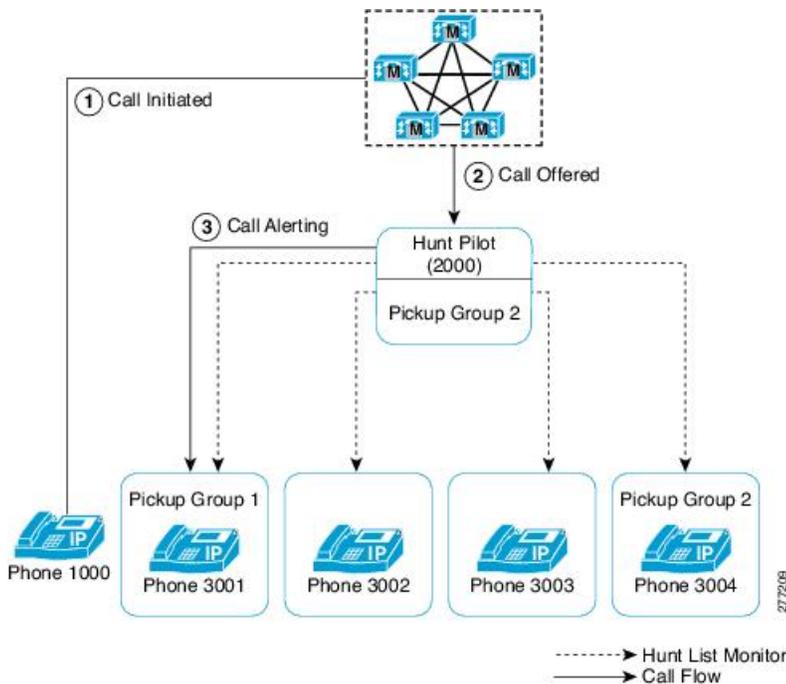
`Allow Calls to be picked up from Line Group Members` サービスパラメータがこの動作を制御します。このサービスパラメータが `[False]`（デフォルト）に設定されているときに、回線グループメンバがコールピックアップグループに含まれている場合、その回線グループメンバ内のコールのアラートは、他のコールピックアップグループのメンバからピックアップできません。これは、

このサービスパラメータが追加される以前の Cisco Unified Communications Manager リリースと同じ動作です。

Allow Calls to be picked up from Line Group Members サービスパラメータが [True] に設定されている場合、ハントパイロットでのコールピックアップグループ設定はすべて無視されます。ハントリストでのコールのアラートは、ピックアップのためにハントパイロットのコールピックアップグループに通知されることもなく、また、これらのコールがピックアップされることもありません。Allow Calls to be picked up from Line Group Members サービスパラメータが [False] に設定されている場合、回線グループメンバでのコールピックアップグループ設定は無視されます。

次の図に、この設定の使用例を示します。

図 9：ハントリストでのコールピックアップ機能の使用例 1

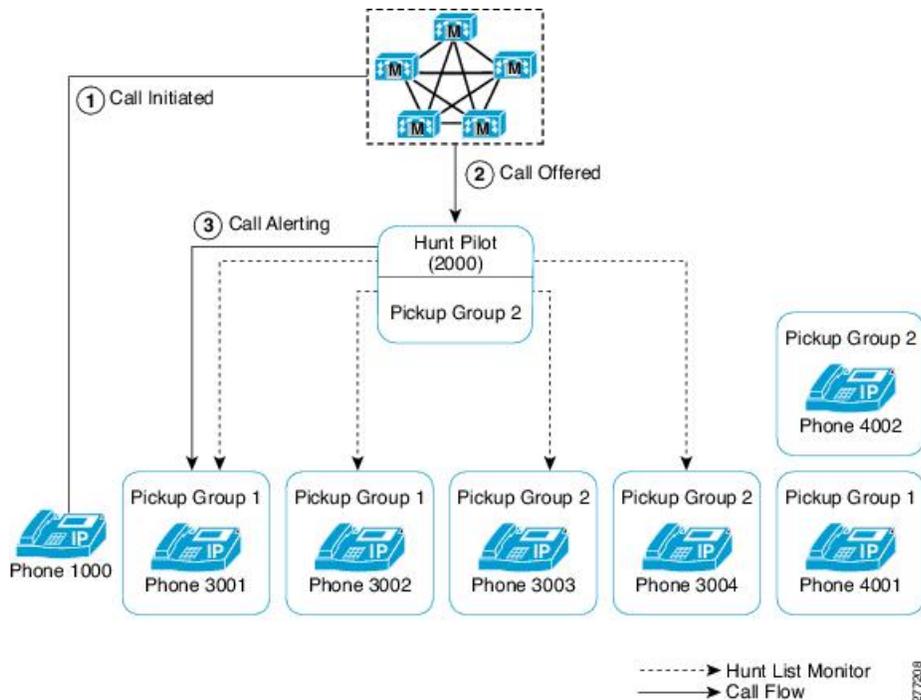


この図では、Allow Calls to be picked up from Line Group Members サービスパラメータが [True] に設定されている場合、電話機 3002 または電話機 3003 でのコールのアラートは、ハントパイロット (2000) がピックアップグループ 1 に存在していてもピックアップできません。このサービスパラメータが [False] に設定されている場合、3001、3002、3003、または 3004 でのコールのアラートはピックアップグループ 1 に関連付けられたメンバからピックアップできます。

Allow Calls to be picked up from Line Group Members サービスパラメータが [True] に設定され、ハントパイロットと回線グループメンバの両方がコールピックアップグループに含まれている場合、回線グループメンバのコールピックアップグループにだけ、ピックアップ可能なコールが

通知されます。また、回線グループ メンバでのコールのアラートは、回線グループ メンバと同じコール ピックアップ グループに関連付けられた回線でピックアップできます。

図 10: ハントリストでのコール ピックアップ機能の使用例 2



この図では、Allow Calls to be picked up from Line Group Members サービス パラメータが [True] に設定されている場合、電話機 3001 または電話機 3002 でのコールのアラートはピックアップ グループ 1 に関連付けられたすべてのメンバ : 3001、3002、および 4001 に通知されます。サービス パラメータが [False] に設定されている場合、3001、3002、3003、または 3004 でのコールのアラートは 3003、3004、および 4002 に通知されます。

Allow Calls to be picked up from Line Group Members サービス パラメータが [True] に設定されている場合、回線グループ メンバでのコールのアラートが通知され、そのコールをピックアップできます。ただし、メンバ間でコールが移動するたびに、ピックアップ通知タイマーがリセットされます。この結果、回線グループメンバ間でコールが移動すると、同じコールのピックアップ通知が（対応するピックアップグループメンバに対して）複数発生します。この通知は、「新旧の」アラート回線グループメンバが同じコール ピックアップ グループに属しているかどうかにかかわらず発生します。コール ピックアップ通知には、発信者と回線グループ メンバの情報が含まれています。

Allow Calls to be picked up from Line Group Members サービス パラメータが [True] に設定されている場合、ある特定のコールピックアップグループでコールの呼び出し音が鳴っていた時間によって、最長コール呼び出し音が決まります。コールが別のコール ピックアップ グループに属する別の回線グループメンバに移動した場合、最長コール呼び出し音タイマーはリセットされます。また、コールがどのコール ピックアップ グループにも属さない別の回線グループメンバに移動した場合にも、最長コール呼び出し音タイマーはリセットされます。

Allow Calls to be picked up from Line Group Members が有効になっている場合、回線グループメンバからピックアップされるコールでは、ブロードキャストコール分配アルゴリズムがサポートされません。

パーティションとのコールピックアップ機能の連携

コールピックアップグループ番号にパーティションを割り当てると、コールピックアップグループへのアクセスを制限できます。この設定を使用すると、コールピックアップグループ番号のあるパーティションをコーリング検索スペースに含んでいる電話機だけが、そのコールピックアップグループに加入できます。パーティションとグループ番号の組み合わせは、システム全体で一意になるようにしてください。

- コールピックアップグループ番号がパーティションに割り当てられていると、そのパーティション内の番号をダイヤルできる電話機だけが、そのコールピックアップグループを使用できます。
- パーティションがマルチテナント構成のテナントに相当する場合は、各テナントに該当するパーティションに対してピックアップグループを割り当てる必要があります。

マルチテナント構成は、コールピックアップグループでパーティションを使用する例になります。ピックアップグループをテナントごとに適切なパーティションに割り当てると、グループ番号が他のテナントに表示されなくなります。

ダイレクトコールピックアップ機能では、ダイレクトコールピックアップ機能を要求するユーザのコーリング検索スペースにコールのピックアップ元となるDNのパーティションが含まれている必要があります。

コールピックアップ通知

コールピックアップ通知機能は、ピックアップグループの他のメンバがコールを受信したときに、Cisco Unified IP Phone へオーディオ通知またはビジュアル通知、あるいはその両方での通知を提供します。コールピックアップ通知は、システム、コールピックアップグループ、およびDN/電話機という3つの設定タイプの設定ウィンドウで設定します。

- [サービスパラメータ設定(Service Parameter Configuration)] : [サービスパラメータ設定(Service Parameter Configuration)] ウィンドウでは、電話機がアイドル状態またはビジー状態になった場合に聞こえるオーディオ通知（ビープ音または呼び出し音）のタイプを設定します。この設定は、システムのデフォルトになります。
- [コールピックアップグループの設定(Call Pickup Group Configuration)] : Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [コールピックアップグループの設定(Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウでは、各コールピックアップグループの通知タイプを設定します。通知タイプの設定のほか、コールがそのグループに着信してからオーディオアラートおよびビジュアルアラートを送信するまでの遅延時間を秒単位で設定できます。この設定により、そのピックアップグループにオーディオアラートおよびビジュアルアラート、

またはそのいずれかが送信される前に、元の着信側がコールに応答することができます。
コールピックアップグループの設定項目、(33 ページ) を参照してください。

- 通知のタイプをオーディオまたはビジュアル、あるいはその両方に設定するには、[コールピックアップグループの設定(Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウの [コールピックアップグループの通知設定(Call Pickup Group Notification Settings)] の設定項目を使用します。通知は、デバイスのプライマリ回線だけに送信されます。
- [コールピックアップグループの設定(Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウでビジュアル通知を設定するには、[コールピックアップグループ通知のコール情報表示(Call Information Display For Call Pickup Group Notification)] セクションの設定項目を使用します。この設定により、管理者は、通知メッセージに発呼側および着信側、またはいずれかの詳細情報を加えることができます。発呼側/着信側の名前が設定されている場合には、それらの名前が表示されます。設定されていない場合は、番号が表示されます。ビジュアル通知は、電話機のステータス行のメッセージを構成します。
- [電話番号の設定(Directory Number Configuration)] : このウィンドウは、各電話機のオーディオアラート設定項目を設定するためのフィールドを提供します。コールピックアップグループオーディオアラートの設定を使用して、電話機のオーディオアラートのタイプを設定します。この設定により、ユーザは電話機がアイドル状態になったとき、またはアクティブなコールを受けているときに提供されるオーディオアラートのタイプを設定できます。
『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』を参照してください。

コールピックアップ通知は、ピックアップグループのメンバが着信コールを受信したときにだけ、ピックアップグループの他のメンバに送信される点に注意してください。

コールピックアップのシステム要件

コールピックアップが動作するには、次のソフトウェアコンポーネントおよびハードウェアコンポーネントが必要です。

- Cisco Unified Communications Manager
- 次の表は、サポートされている Cisco Unified IP Phone のリストです。

表 1: コールピックアップをサポートしている *Cisco Unified IP Phone*

Cisco Unified IP Phone モデル	コールピックアップ機能	ソフトキー	ボタン
Cisco Unified IP Phone 6900 シリーズ (6901 を除く) Cisco Unified IP Phone 6911 は、ソフトキーをサポートしません。システム管理者が、コールピックアップ用の機能番号を設定し、ユーザが機能キーを押してコールピックアップ機能番号をダイヤルします。	コールピックアップ グループピックアップ 他グループピックアップ ダイレクトコールピックアップ	X	X
Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ	コールピックアップ グループピックアップ 他グループピックアップ ダイレクトコールピックアップ	X	
Cisco Unified IP Phone 8900 シリーズ	コールピックアップ グループピックアップ 他グループピックアップ ダイレクトコールピックアップ		X
Cisco Unified IP Phone 9900 シリーズ	コールピックアップ グループピックアップ 他グループピックアップ ダイレクトコールピックアップ		X

Cisco Unified IP Phone とコールピックアップの詳細については、使用している電話機モデルのユーザガイドを参照してください。



- (注) 管理者は、ソフトキーテンプレートに[他グループピックアップ(OPickUp)(Other Pickup、他グループ)]ソフトキーを追加する必要があります。プログラミング可能な回線キー機能を使用して、コールピックアップ、グループコールピックアップ、他グループコールピックアップ、およびダイレクトコールピックアップを電話ボタンテンプレートに設定できます（『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』を参照）。

インタラクションおよび制限事項

この項では、コールピックアップのインタラクションおよび制限事項について説明します。

インタラクション

この項では、コールピックアップが Cisco Unified Communications Manager のアプリケーションと連携する方法およびコール処理機能について説明します。

ルート プラン レポート

[ルートプランレポート(Route Plan Report)]には、Cisco Unified Communications Manager で設定されているパターンと電話番号が示されます。コールピックアップグループに DN を割り当てる前に、ルートプランレポートを使用して、パターンと DN の重複を検索します。『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』を参照してください。

コーリング サーチ スペースとパーティション

デバイスのコーリング サーチ スペースに基づいてユーザによるコールピックアップへのアクセスを制限するには、コールピックアップグループ番号をパーティションに割り当てます。『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の中のコーリング サーチ スペースの設定に関係した項目を参照してください。

時刻

ユーザは、本人が所属するグループに関連付けられたグループのコールに応答するには、関連付けられたグループのメンバに関するコーリング サーチ スペース、パーティション、および Time of Day (TOD) パラメータを設定することにより、本人が所属するグループと同じ時間帯にアクティブになってコールを受け入れることができる必要があります。TOD は、タイムスタンプをコーリング サーチ スペースとパーティションに関連付けます。

たとえば、ABC というパーティションが午前 9 時～午後 5 時までアクティブになっているとします。コーリング サーチ スペース cssABC は、パーティション ABC を含んでいます。pickABC というピックアップグループには、電話機 1 と電話機 2 が含まれています。電話機 1 と電話機 2

は、同じコーリング サーチ スペース `cssABC` に存在します。電話機 1 の呼び出し音が午後 5 時 30 分に鳴り、電話機 2 がコールへの応答を試行する場合、午後 5 時以降はパーティションがアクティブになっていないため、この試行は失敗します。電話機 1 の呼び出し音が午前 9 時 30 分に鳴ると、電話機 2 はそのコールに応答できます。

コール アカウンティング

コール ピックアップ機能は、コール アカウンティングと連携します。

- 自動コール ピックアップによってコール ピックアップが発生すると、システムは 2 つの呼詳細レコード (CDR) を生成します。一方の CDR はクリアされた元のコールに適用され、もう一方の CDR は接続された要求コールに適用されます。
- 自動でないコール ピックアップによってコール ピックアップが発生すると、システムは 1 つの呼詳細レコードを生成し、接続された要求コールにそれが適用されます。
- CDR 検索では、指定された特定の期間およびその他の検索条件に一致する CDR がすべて返されます。特定の CDR に関連付けられたコールのタイプがわかるよう、検索結果のコールタイプフィールドには、コールがピックアップ コールかどうかが表示されます。

依存関係レコード

特定のコール ピックアップ番号が割り当てられているデバイスを検索する必要がある場合は、Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [コールピックアップグループの設定(Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウにある [依存関係レコード(Dependency Records)] リンクをクリックします。[依存関係レコード要約(Dependency Records Summary)] ウィンドウには、そのコール ピックアップ番号を使用しているデバイスに関する情報が表示されます。

ピックアップグループが他のピックアップグループに関連付けられている場合、そのピックアップグループの依存関係レコードには、関連付け情報が表示されます。たとえば、ピックアップグループ A がピックアップグループ B およびピックアップグループ C に関連付けられている場合、ピックアップグループ A の依存関係レコードには、ピックアップグループ B およびピックアップグループ C に対するピックアップグループ A の関連付けに関する情報が表示されます。

デバイスに関する詳細な情報を調べるには、デバイスをクリックします。[依存関係レコード詳細(Dependency Records Detail)] ウィンドウが表示されます。依存関係レコードがシステムで使用できない場合は、[依存関係レコード要約(Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。

依存関係レコードの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』を参照してください。

制限事項

コール ピックアップ グループには、次の制限事項があります。

- ある特定の電話機に割り当て済みの異なる回線を異なるコールピックアップグループに割り当てることは可能ですが、ユーザの混乱を招く原因になるため、この設定はお勧めしません。
- 回線またはDNに割り当てられているコールピックアップグループ番号を削除することはできません。コールピックアップグループ番号を使用している回線を調べるには、依存関係レコードを使用します。コールピックアップグループ番号を削除するには、各回線または各DNに新しいコールピックアップグループ番号を割り当て直す必要があります。
- コールピックアップグループ番号を更新すると、そのコールピックアップグループに割り当てられているすべての電話番号が Cisco Unified Communications Manager により自動的に更新されます。
- SIP を実行する Cisco Unified IP Phone 7940 および 7960 では、コールピックアップ通知、オーディオアラート、およびビジュアルアラートはサポートされません。
- コールピックアップ通知、オーディオアラート、およびビジュアルアラートがサポートしているのは、ライセンスが発行されているサードパーティの SIP を実行する電話機だけです。
- ユーザは、ダイレクトコールピックアップ機能を使用して、回線グループに属するDNへのコールを受けることはできません。
- デバイスがハントリストに所属し、ハントパイロット番号へ発信されたコールによって、そのデバイスの呼び出し音が鳴っている場合、ユーザはダイレクトコールピックアップ機能を使用してこのようなコールを受けることはできません。

コールピックアップのインストールとアクティブ化

システム機能のコールピックアップは、Cisco Unified Communications Manager ソフトウェアに標準で備わっています。この機能は、特にインストールする必要はありません。

コールピックアップ機能の設定

この項では、コールピックアップのサービスパラメータの設定について説明します。



ヒント

コールピックアップを設定する前に、コールピックアップ、グループコールピックアップ、他グループコールピックアップ、ダイレクトコールピックアップ、および BLF コールピックアップの設定に関連するトピックを参照してください。

関連トピック

[BLF コールピックアップの設定, \(8 ページ\)](#)

[コールピックアップおよびグループコールピックアップの設定, \(1 ページ\)](#)

[ダイレクトコールピックアップの設定, \(6 ページ\)](#)

[他グループコールピックアップの設定, \(4 ページ\)](#)

コールピックアップのサービスパラメータの設定

Cisco Unified Communications Manager には、コールピックアップ機能向けに次のクラスタ全体のサービスパラメータが用意されています。各サービスパラメータではデフォルトが設定されているので、特別な設定は必要ありません。

- **Auto Call Pickup Enabled** : デフォルトは [False] です。このパラメータは、自動コールピックアップ機能が有効かどうかを決定します。有効にするには、このフィールドを [True] に設定します。
- **Call Pickup Locating Timer** : デフォルトは 1 秒です。このサービスパラメータは、ピックアップがピックアップグループのすべてのアラートコールを受信するまで待機する最大時間を秒単位で指定します。
- **Call Pickup No Answer Timer** : デフォルトは 12 秒です。この必須パラメータは、ピックアップ要求を開始したユーザがコールを受けないことにした場合に、元のコールを復元するまでに待機する最大時間を秒単位で指定します。



(注)

タイマーを設定するには、[システム(System)] > [サービスパラメータ(Service Parameters)] を選択し、[詳細設定(Advanced)] アイコンを選択するか、[詳細設定(Advanced)] ボタンをクリックして、[Clusterwide Parameters (Feature - Call Pickup)] ペインのフィールドを更新します。

- **Allow Calls to be picked up from Line Group Members** : デフォルトは [False] です。このパラメータを [True] に設定すると、ハントパイロットでのコールピックアップグループ設定は無視されます。ハントリストでのコールのアラートは、ピックアップのためにハントパイロットのコールピックアップグループに通知されることもなく、また、これらのコールがピックアップされることもありません。このパラメータを [False] に設定すると、回線グループメンバでのコールピックアップグループ設定は無視されます。このサービスパラメータが与える影響の詳細については、[ハントリストでのコールピックアップ機能の使用, \(21 ページ\)](#) を参照してください。

複数のコールピックアップグループの設定

この項では、複数のコールピックアップグループの設定、他グループコールピックアップのピックアップグループの定義、コールピックアップグループの削除、およびコールピックアップグループの電話番号への割り当てについて説明します。

**ヒント**

コールピックアップを設定する前に、以下を構成するための手順の概要を確認してください。

- コールピックアップおよびグループ コールピックアップ
- 他グループ コールピックアップ
- ダイレクト コールピックアップ
- BLF コールピックアップ

関連トピック

[BLF コールピックアップの設定, \(8 ページ\)](#)

[コールピックアップおよびグループ コールピックアップの設定, \(1 ページ\)](#)

[ダイレクト コールピックアップの設定, \(6 ページ\)](#)

[他グループ コールピックアップの設定, \(4 ページ\)](#)

コールピックアップグループの検索

コールピックアップグループの検索/一覧表示のウィンドウでは、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで設定したコールピックアップグループを検索できます。

ネットワーク上には複数のピックアップグループが存在する場合があります。Cisco Unified Communications Manager では、特定の条件に基づいて、コールピックアップグループを検索できます。コールピックアップグループを検索するには、次の手順を実行します。

**(注)**

ブラウザセッションでの作業中は、Cisco Unified Communications Manager の管理ページでコールピックアップグループの検索プリファレンスが保持されます。他のメニュー項目に移動してこのメニュー項目に戻った場合でも、検索を変更するかブラウザを閉じない限り、コールピックアップグループの検索プリファレンスは Cisco Unified Communications Manager の管理ページで保持されています。

手順

- ステップ 1** [コールルーティング(Call Routing)] > [コールピックアップグループ(Call Pickup Group)] を選択します。
[コールピックアップグループの検索/一覧表示(Find and List Call Pickup Groups)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** レコードをフィルタリングまたは検索するには、次の操作を実行します。
- a) 最初のドロップダウンリストボックスで、検索パラメータを選択します。
 - b) 2 番目のドロップダウンリストボックスで、検索パターンを選択します。

- c) 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。
- (注) 別の検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加した場合は、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。検索条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして、最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア(Clear Filter)] ボタンをクリックして、追加した検索条件をすべて削除します。

ステップ 3 データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、[検索(Find)] をクリックします。

すべてのレコードまたは一致するレコードが表示されます。[ページあたりの行数(Rows per Page)] ドロップダウンリストボックスから異なる値を選択すると各ページに表示される項目数を変更できます。

- (注) 適切なレコードの横にあるチェックボックスをオンにして、[選択項目の削除(Delete Selected)] をクリックすると、データベースから複数のレコードを削除できます。[すべて選択(Select All)] をクリックして[選択項目の削除(Delete Selected)] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 表示されたレコードリストから、目的のレコードのリンクをクリックします。

(注) ソート順を逆にするには、リストのヘッダーにある上矢印または下矢印をクリックします (使用可能な場合)。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

コールピックアップグループの設定

ここでは、1つのコールピックアップグループを追加、コピー、および更新する方法について説明します。

手順

- ステップ 1** [コールルーティング(Call Routing)] > [コールピックアップグループ(Call Pickup Group)] を選択します。
- ステップ 2** 次のいずれかの手順を実行します。
- 新しいコールピックアップグループを追加するには、[新規追加(Add New)] をクリックします。
 - コールピックアップグループをコピーするには、[複数のコールピックアップグループの設定 \(30ページ\)](#) の手順を使用して、コールピックアップグループを検索します。[コピー(Copy)] アイコンをクリックします。
 - コールピックアップグループを更新するには、[複数のコールピックアップグループの設定 \(30ページ\)](#) の手順を使用して、コールピックアップグループを検索します。
[コールピックアップグループの設定(Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウが表示されます。

- ステップ3 適切な設定値を入力するか更新します（[コールピックアップグループの設定項目](#)、[33 ページ](#)）を参照）。
- ステップ4 新規コールピックアップグループまたは変更されたコールピックアップグループをデータベースに保存するには、[保存(Save)] をクリックします。

コールピックアップグループの設定項目

コールピックアップ機能を使用すると、ユーザは、本人が所属するグループ内の着信コールを受けることができます。Cisco Unified Communications Manager は、ユーザが Cisco Unified IP Phone からこの機能をアクティブにしたときに、適切なコールピックアップグループ番号を自動的にダイヤルします。このタイプのコールピックアップには、[ピック] ソフトキーを使用します。

グループコールピックアップ機能を使用すると、ユーザは、別のグループ内の着信コールを受けることができます。ユーザは、Cisco Unified IP Phone からこの機能をアクティブにするときに、適切なコールピックアップグループ番号をダイヤルする必要があります。このタイプのコールピックアップには、[Gピック] ソフトキーを使用します。



(注) コールピックアップ機能とグループコールピックアップ機能の設定手順は同じです。グループコールピックアップ番号は、回線または電話番号に適用されます。

次の表に、コールピックアップグループの設定項目を示します。

表 2: コールピックアップグループの設定項目

フィールド	説明
[コールピックアップグループ情報(Call Pickup Group Information)]	
[コールピックアップグループ名(Call Pickup Group Name)]	最大で 100 文字の英数字を入力できます。たとえば、Operations のように入力します。ピックアップグループ名は、ピックアップグループ番号と関連付けられます。ピックアップグループはピックアップグループ名で選択できます。
[コールピックアップグループ番号(Call Pickup Group Number)]	追加するコールピックアップグループ用の一意の電話番号（整数）を入力します。 24 桁まで入力できます。使用できる文字は、数字（0～9）、A～D、プラス記号（+）、シャープ記号（#）、およびアスタリスク（*）です。数字を国際エスケープ文字（+）で始める場合は、+の前にバックスラッシュ（\）を置く必要があります。
[説明(Description)]	コールピックアップグループの説明を入力します（たとえば、Operations Department Group Pickup）。

フィールド	説明
[パーティション(Partition)]	<p>パーティションを使用してコールピックアップグループへのアクセスを制限する場合は、ドロップダウンリストボックスから希望のパーティションを選択します。コールピックアップグループへのアクセスを制限しない場合は、パーティションに[なし](<None>)]を選択します。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズパラメータを使用すると、このドロップダウンリストボックスに表示されるパーティションの数を設定できます。Max List Box Items エンタープライズパラメータの指定よりも多くのパーティションが存在する場合は、このドロップダウンリストボックスの横に [検索(Find)] ボタンが表示されます。[検索(Find)] ボタンをクリックすると、[パーティションの検索/一覧表示(Find and List Partitions)] ウィンドウが表示されます。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』のパーティションの検索に関連するトピックを参照してください。</p> <p>(注) リストボックスの最大項目を設定するには、[システム(System)]>[エンタープライズパラメータ(Enterprise Parameters)]の順に選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。</p> <p>(注) コールピックアップグループ番号とパーティションの組み合わせが、Cisco Unified Communications Manager 内で固有であることを確認してください。</p>
[コールピックアップグループの通知設定(Call Pickup Group Notification Settings)]	
[コールピックアップグループ通知ポリシー(Call Pickup Group Notification Policy)]	<p>ドロップダウンリストボックスから、次のいずれかの通知タイプを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [アラートなし(No Alert)] • [オーディオアラート(Audio Alert)] • [ビジュアルアラート(Visual Alert)] • [オーディオおよびビジュアルアラート(Audio and Visual Alert)]
[コールピックアップグループ通知タイマー(Call Pickup Group Notification Timer、秒)]	<p>元の着信側にコールが最初に着信してから、それ以外のコールピックアップグループに通知を送信するまでの遅延時間を秒単位 (1 ~ 300 の範囲の整数) で入力します。</p>
[コールピックアップグループ通知のコール情報表示(Call Information Display For Call Pickup Group Notification)]	

フィールド	説明
<p>[発呼側情報(Calling Party Information)]</p>	<p>コールピックアップグループへのビジュアル通知メッセージに発呼側のIDを加えるには、このチェックボックスをオンにします。 [コールピックアップグループ通知ポリシー(Call Pickup Group Notification Policy)] が [ビジュアルアラート(Visual Alert)] または [オーディオおよびビジュアルアラート(Audio and Visual Alert)] に設定されている場合にだけ、この設定を使用できます。</p> <p>[発呼側情報(Calling Party Information)] と [着信側情報(Called Party Information)] の両方を表示する場合、最初の 11 文字だけが各ディスプレイに表示されます。 どちらか一方だけを表示する場合は、最初の 23 文字が表示されます。 ただし、表示名に関連番号がない機能タグ ([Conference] -> [Alice] など) が含まれる場合は、このような文字数の制限はありません。</p> <p>(注) アクティブな通知アラートが複数ある場合、最新のビジュアルアラートによってその前のアラートが無効になります。 ユーザがコールピックアップをアクティブにすると、電話機に現在ビジュアルアラートが表示されている場合でも、ピックアップ可能な最も古いコールにユーザが接続されます。 発信側または着信側の情報を表示しないビジュアル通知を使用することで、この矛盾を回避することができます。 この設定を使用する場合、「コールがピックアップ可能」という汎用メッセージが表示されます。 自動コールピックアップ (AutoCallPickupEnabled サービスパラメータ) が無効の場合は発信者の ID を取得できます。 詳細については、自動コールピックアップ、(20 ページ) を参照してください。</p>

フィールド	説明
[着信側情報(Called Party Information)]	<p>コールピックアップグループへのビジュアル通知メッセージに元の着信側のIDを加えるには、このチェックボックスをオンにします。[コールピックアップグループ通知ポリシー(Call Pickup Group Notification Policy)]が[ビジュアルアラート(Visual Alert)]または[オーディオおよびビジュアルアラート(Audio and Visual Alert)]に設定されている場合に、この設定を使用できます。</p> <p>[発呼側情報(Calling Party Information)]と[着信側情報(Called Party Information)]の両方を表示する場合、最初の11文字だけが各ディスプレイに表示されます。どちらか一方だけを表示する場合は、最初の23文字が表示されます。ただし、表示名に関連番号がない機能タグ([Conference] -> [Alice]など)が含まれる場合は、このような文字数の制限はありません。</p> <p>(注) アクティブな通知アラートが複数ある場合、最新のビジュアルアラートによってその前のアラートが無効になります。ただし、ユーザがコールピックアップをアクティブにすると、電話機に現在ビジュアルアラートが表示されていない場合でも、ピックアップ可能な最も古いコールにユーザが接続されます。発信側または着信側の情報を表示しないビジュアル通知を使用することで、この矛盾を回避することができます。この設定を使用する場合、「コールがピックアップ可能」という汎用メッセージが表示されます。自動コールピックアップ(AutoCallPickupEnabled サービスパラメータ)が無効の場合は発信者のIDを取得できます。詳細については、自動コールピックアップ、(20ページ)を参照してください。</p>
[関連付け先コールピックアップグループ情報(Associated Call Pickup Group Information)] : [番号/パーティションでピックアップ番号を検索(Find Pickup Numbers by Numbers/Partition)]	
[パーティション(Partition)]	この表の[コールピックアップグループ情報(Call Pickup Group Information)]の[パーティション(Partition)]を参照してください。
[コールピックアップグループ番号が次を含む(Call Pickup Group Numbers Contain)]	検索するコールピックアップグループのDNまたはその一部を入力し、[検索(Find)]をクリックします。

フィールド	説明
[使用可能コールピックアップグループ(Available Call Pickup Groups)]	<p>[現在の関連付け先コールピックアップグループ(Current Associated Call Pickup Groups)] 領域にある関連付け先コールピックアップグループリストにメンバを追加するには、このリストから DN/パーティションを選択し、[関連付け先コールピックアップグループに追加(Add to Associated Pickup Groups)] をクリックします。</p> <p>設定されたグループが自動的に [現在の関連付け先コールピックアップグループ(Current Associated Call Pickup Groups)] のリストに追加されます。これによって、[他グループ] ソフトキーを使用して、ユーザがいるグループ内のコールを受けることができるようになります。</p>
[関連付け先コールピックアップグループ情報(Associated Call Pickup Group Information)] : [現在の関連付け先コールピックアップグループ(Current Associated Call Pickup Groups)]	
[選択されたコールピックアップグループ(Selected Call Pickup Groups)]	<p>コールピックアップグループリスト項目の順序を変更するには、このボックスの右側の上矢印と下矢印を使用して、リスト項目を移動します。リスト項目の順序を逆にするには、[選択された番号の順番を逆にする(Reverse Order of Selected Numbers)] をクリックします。このボックスから [削除されたコールピックアップグループ(Removed Call Pickup Groups)] ボックスにコールピックアップグループを移動するには、このボックスの下にある上矢印と下矢印を使用します。</p>
[削除されたコールピックアップグループ(Removed Call Pickup Groups)]	<p>このボックスから [選択されたコールピックアップグループ(Selected Call Pickup Groups)] ボックスにコールピックアップグループを移動するには、このボックスの上にある上矢印と下矢印を使用します。</p>

関連トピック

[コールピックアップ, \(1 ページ\)](#)

[コールピックアップ機能, \(12 ページ\)](#)

コールピックアップグループの削除

ここでは、Cisco Unified Communications Manager データベースからコールピックアップグループを削除する方法について説明します。

はじめる前に

回線または電話番号に割り当てられているコールピックアップグループ番号を削除することはできません。このコールピックアップグループを使用している電話番号のリストを表示するには、[依存関係レコード(Dependency Records)] リンクをクリックします。依存関係レコードがシステムで使用できない場合は、[依存関係レコード要約(Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の[自動コールピックアップ](#)、(20 ページ) の項を参照してください。これらの電話番号のコールピックアップを再び有効にするには、各電話番号を新しいコールピックアップグループに割り当て直す必要があります。詳細については、[電話番号へのコールピックアップグループの割り当て](#)、(39 ページ) を参照してください。

手順

-
- ステップ 1 [複数のコールピックアップグループの設定](#)、(30 ページ) の手順を使用して、コールピックアップグループを検索します。
 - ステップ 2 削除するコールピックアップグループをクリックします。
 - ステップ 3 [削除(Delete)] をクリックします。
そのコールピックアップグループが [コールピックアップグループの検索/一覧表示(Find and List Call Pickup Groups)] ウィンドウに表示されなくなります。
-

他グループコールピックアップのピックアップグループの定義

この項では、関連付けられたグループに対する着信コールに応答するために、ユーザのグループにコールピックアップグループを関連付ける方法について説明します。グループには、最大 10 のコールピックアップグループを関連付けることができます。関連付けられたグループのコールに応答する優先順位は、関連付けられたグループリストで最初に関連付けられたグループから最後に関連付けられたグループの順になります。[コールピックアップグループの設定(Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウでこのリストを編成できます。

手順

- ステップ1 複数のコールピックアップグループの設定、(30 ページ) の手順を使用して、グループを検索します。
- ステップ2 [コールピックアップグループの設定(Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウで、[関連付け先コールピックアップグループ情報(Associated Call Pickup Group Information)] 領域までスクロールします。
- ステップ3 コールピックアップグループの設定項目、(33 ページ) の説明に従って、該当するフィールドに情報を入力します。
- ステップ4 [保存(Save)] をクリックします。

電話番号へのコールピックアップグループの割り当て

この項では、電話番号にコールピックアップグループを割り当てる方法について説明します。コールピックアップグループに割り当てられた電話番号だけが、コールピックアップ、グループコールピックアップ、BLF コールピックアップ、他グループコールピックアップ、およびダイレクトコールピックアップを使用できます。

はじめる前に

電話番号にコールピックアップグループを割り当てる前に、[コールピックアップグループの設定](#)、(32 ページ) の説明に従ってコールピックアップグループを作成する必要があります。

手順

- ステップ1 [デバイス(Device)] > [電話またはコールルーティング(Phone or Call Routing)] > [電話番号(Directory Number)] を選択します。
- ステップ2 コールピックアップグループに割り当てる電話機または電話番号を検索するための適切な検索条件を入力し、[検索(Find)] をクリックします。
検索条件に一致した電話機または電話番号のリストが表示されます。

- ステップ3 コールピックアップグループに割り当てる電話機または電話番号を選択します。
 - ステップ4 [電話番号の設定(Directory Number Configuration)] ウィンドウを使用している場合は、[電話番号へのコールピックアップグループの割り当て](#)、(39 ページ) に進んでください。
 - ステップ5 [電話の設定(Phone Configuration)] ウィンドウの [割り当て情報(Association Information)] リストから、コールピックアップグループを割り当てる電話番号を選択します。
 - ステップ6 [コール転送とコールピックアップの設定(Call Forward and Call Pickup Settings)] 領域に表示される [コールピックアップグループ(Call Pickup Group)] ドロップダウンリストボックスから、割り当て先のコールピックアップグループを選択します。
 - ステップ7 [保存(Save)] をクリックして、変更内容をデータベースに保存します。
-

ハントパイロットへのコールピックアップグループの割り当て

この項では、ハントパイロットにコールピックアップグループを割り当てる方法について説明します。コールピックアップグループに割り当てられたハントリストだけが、コールピックアップ、グループコールピックアップ、BLF コールピックアップ、他グループコールピックアップ、およびダイレクトコールピックアップを使用できます。

はじめる前に

ハントリストにコールピックアップグループを割り当てる前に、[コールピックアップグループの設定](#)、(32 ページ) の説明に従ってコールピックアップグループを作成する必要があります。

手順

-
- ステップ1 [コールルーティング(Call Routing)] > [ルート/ハント(Route/Hunt)] > [ハントパイロット(Hunt Pilot)] を選択します。
 - ステップ2 コールピックアップグループに割り当てるハントパイロットを検索するための適切な検索条件を入力し、[検索(Find)] をクリックします。検索条件と一致するハントパイロットのリストが表示されます。
 - ステップ3 コールピックアップグループに割り当てるハントパイロットを選択します。
 - ステップ4 [ハント転送の設定(Hunt Forward Settings)] 領域に表示される [コールピックアップグループ(Call Pickup Group)] ドロップダウンリストボックスから、割り当て先のコールピックアップグループを選択します。
 - ステップ5 [保存(Save)] をクリックして、変更内容をデータベースに保存します。
-

関連トピック

[ハントリストでのコールピックアップ機能の使用](#)、(21 ページ)